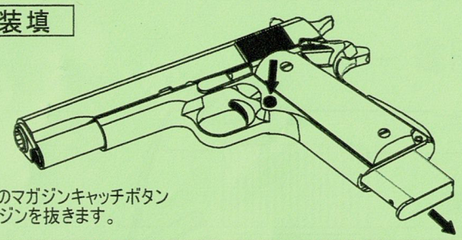
操作方法

カートのセットアップ

別図の「カートのセットアップ」を見ながらカートリッジに火薬をセットして下さい。

カートの装填

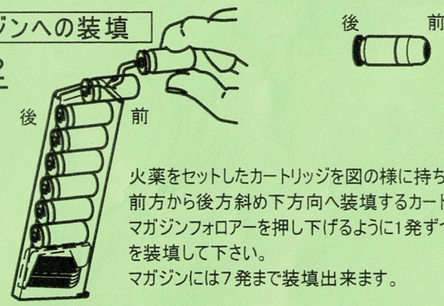
図1



グリップ左側のマガジンキャッチボタン
を押してマガジンを抜きます。

マガジンへの装填

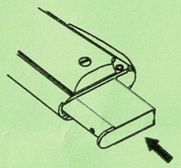
図2



火薬をセットしたカートリッジを図の様に持ち、マガジン前方から後方斜め下方向へ装填するカートリッジでマガジンフォロアーを押し下げるように1発ずつカートリッジを装填して下さい。
マガジンには7発まで装填出来ます。

マガジンの装填

図3



マガジンを銃に戻します。
マガジンキャッチが掛かってマガジンが抜けない事を確認をして下さい。

撃発

図4

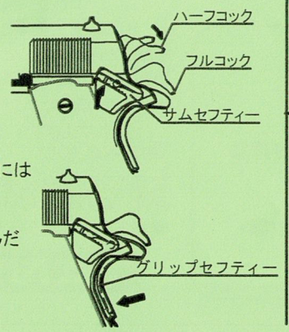


カートリッジを詰めたマガジンを銃に装填し、スライドをストローク一杯に引いて離すと第一弾をバレル内に送り込み、発火準備はすべて完了。
後はトリガーを引けば発火、ブローバックします。

※銃の持ち方や火薬のバラツキによりスライドストップが掛からない場合が有ります。

—注意！—
撃つ準備が整うまでは暴発防止のため、絶対にトリガーに指を掛けないで下さい。

安全装置



セフティーには3種類あります。

1、ハンマーがフルコックの位置にある時はサムセフティーを上げるとハンマーがロックされてトリガーが引けません。

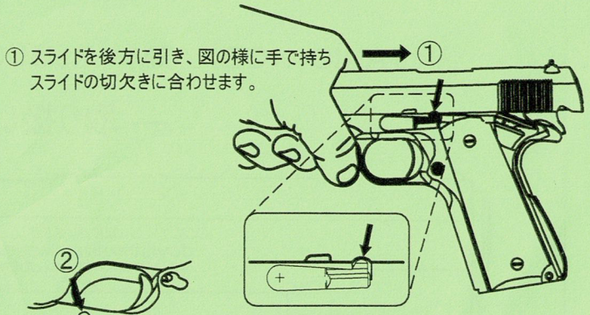
2、ハンマーがハーフコックの位置にある時にはサムセフティーは掛かりません。

3、グリップセフティーはいっぱいに握り込んだ時にのみ、安全装置が外れて発射出来るようになります。

分解方法

まず必ず銃からマガジンを抜き、スライドを引いてチャンバー内にカートリッジが残っていないか確認して下さい。

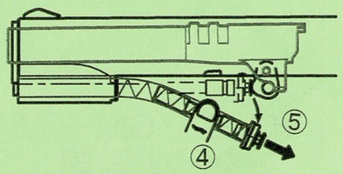
① スライドを後方に引き、図の様に手で持ちスライドの切欠きに合わせます。

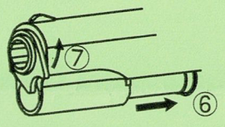


② 図の様にスライドストップを左側に押し出し抜きます。

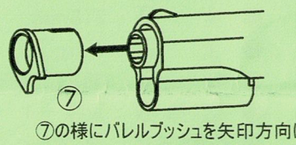
③スライドを前方向に抜いて下さい。

④レコイルSPガイドを指で挟み
⑤レコイルSPが飛び出さない様に押えながらガイド後方を下げて全体を後方に抜きます。



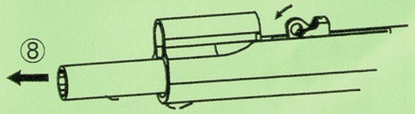


⑥レコイルプラグを後方に抜きます。

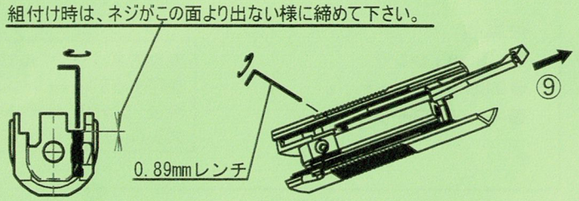


⑦の様にバレルブッシュを矢印方向に回した後、前方向に抜きます。

⑧バレルリンクを前方向に倒した状態で前方向に引き抜いて下さい。



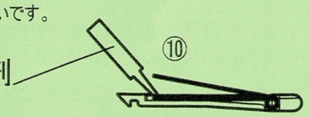
⑨ワイドエキストラクターSCをスライド下部より緩めて抜きます。
組付け時は、ネジがこの面より出ない様に締めて下さい。



■ワイドエキストラクターSCは何度も取り外しをしないで下さい。
■ワイドエキストラクターを以前のモデルに取付ける場合には、ブリーチに加工が必要です。

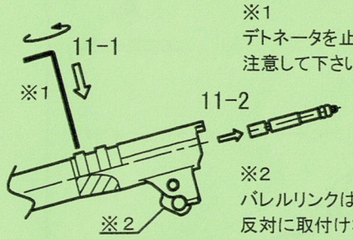
⑩エキストラクターを組み込むときは、同スプリングを図4の様に組んでから取り付けして下さい。
■エキストラクターとスプリングを瞬着等で仮止めしてから取り付けると、バネが外れ難いです。

瞬間接着剤



分解方法

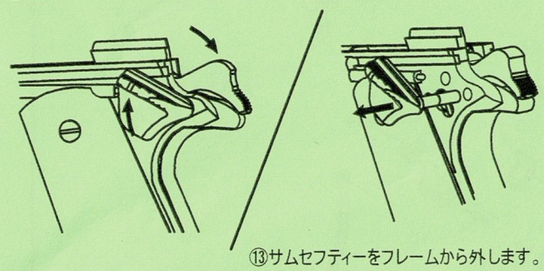
11-1 バレル上部のネジを1.5mmのレンチで緩め、
11-2 デトネータを取り外します。



※1
デトネータを止める時はネジの締め過ぎに注意して下さい。

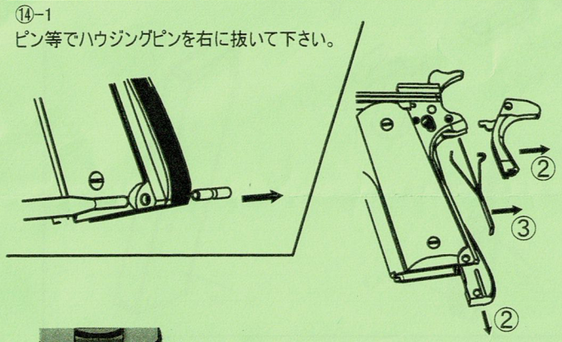
※2
バレルリンクは突起が有る方が前側です。
反対に取付けない様に注意して下さい。

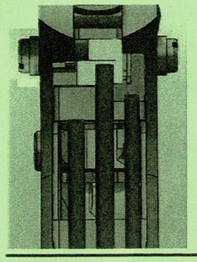
⑫ハンマーをコックしてサムセフティーを上に上げます。



⑬サムセフティーをフレームから外します。

⑭-1
ピン等でハウジングピンを右に抜いて下さい。

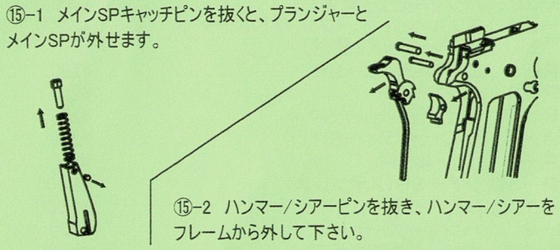




⑭-2 メインSPハウジングを下へ抜き、グリップセフティー・シアーSPを外します。

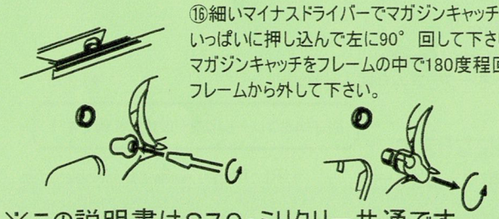
⑭-3
シアーSPの取り付けには組間違いに注意して下さい。
SPの右のツメはディスコネクターの上、
中央のつめはシアーの上にセットして下さい。

⑮-1 メインSPキャッチピンを抜くと、プランジャーとメインSPが外せます。



⑮-2 ハンマー/シアーピンを抜き、ハンマー/シアーをフレームから外して下さい。

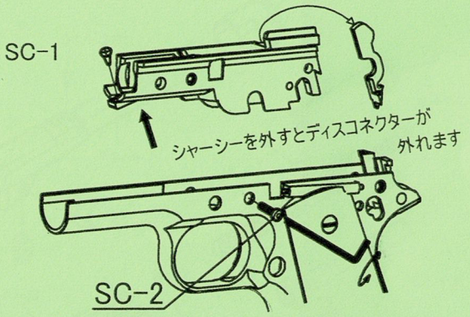
⑯細いマイナスドライバーでマガジンキャッチロックをいっぱいに押し込んで左に90° 回して下さい。
マガジンキャッチをフレームの中で180度程回してフレームから外して下さい。



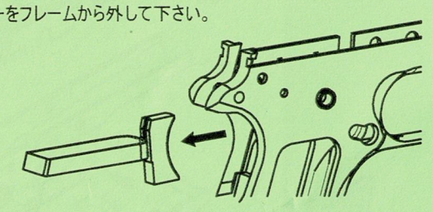
※この説明書はS70・ミリタリー共通です。

分解方法

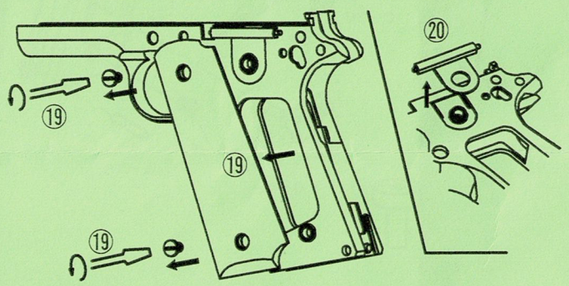
⑰フレームからシャーシーSC1とSC2を外してシャーシーを外します。



⑱トリガーバーをフレームから外して下さい。



⑲ マイナスドライバーでグリップSCを外し、グリップを外して下さい。
⑳ 図の様にプランジャーケースをフレームから外して下さい。

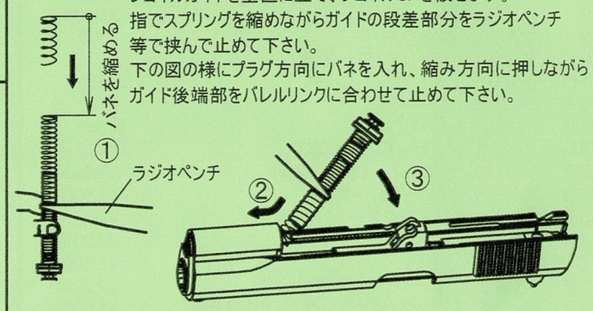


組み立て

メンテナンス終了後、分解と逆の手順で行って下さい。

レコイルSP＆ガイドの取り付け方

レコイルガイドを垂直に立て、レコイルSPを被せます。
指でスプリングを縮めながらガイドの段差部分をラジオペンチ等で挟んで止めて下さい。
下の図の様にプラグ方向にバネを入れ、縮み方向に押しながらガイド後端部をバレルリンクに合わせて止めて下さい。



-社外品パーツについて-
社外品パーツの使用により銃が故障した場合、有償修理とさせて頂きます。
（OEMカスタムの場合はカスタムメーカーへお問い合わせ下さい。）

-マガジン共用へのご注意！-
MGCのGM用モデルガンには様々なタイプがあり、共用出来るタイプと出来ないタイプがありますから、使用する前には必ず全長とスライドストップの作動確認をした上で、ご自分の自己責任においてご判断願います。